

いつも熊本日日新聞をご愛読いただきありがとうございます

早いもので梅雨入りの季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか？蒸し暑かったり、肌寒かったりと気温の変化で体調も崩しやすくなる季節です。体調管理には十分お気をつけください。庭のあじさいの花が咲くのも楽しみです。

九州中央山地国定公園 ～クロスカントリーコース～
水上スカイヴィレッジ
Mizukami Sky Village



5月24日に、九州中央山地国定公園～クロスカントリーコース～『水上スカイヴィレッジ』がオープンしました。標高1,000mのステージには、全天候型トラック(300m)やクロスカントリー(0.5km～2.0km)のコースがあり、クラブハウス・更衣棟・アイシングプールなども整備されています。学生～社会人(一般)まで質の高いトレーニングができます。合宿施設も充実しています。水上村で合宿しませんか？詳しくはお問い合わせ下さい。

お問い合わせ 水上村教育委員会
〒868-0701 球磨郡水上村岩野 2678
TEL 0966-44-0333 FAX 0966-44-0329

第4回新緑の九州名草展開催



5月12日(金)～14日(日)に、湯前町農村環境改善センターで九州名草展が行われました。(主催：葵野草の会 小玉会長 協賛：草びより山草会)会場には「リョウブ」「ムサシアブミ」などの珍しい品種が所狭しと展示されていました。「例年に比べ悪天候の影響が多少はあったが、それでも良い品が揃った」と事務局の濱崎さん。会長の小玉さんも「良い品種が沢山揃ったので多くの人に来場してほしい」と話されていました。展示品の中には、発見当初50万円の値がついた品種も展示され、多くの来場者を楽しませていました。



TARAGI YUNOMAE MIZUKAMI OKAHARU
球磨ん
の
ら
ら
ら
地域と読者の架け橋
OKAHARU TARAGI YUNOMAE MIZUKAMI

編集・発行
熊日多良木販売センター
球磨郡多良木町大字多良木 356-1
TEL 42-3355 FAX 49-1726
http://www.taragi.com/
熊日湯前販売センター
球磨郡湯前町中里 1830 TEL 43-2151
(代)小出堅太郎 石田敏郎 尾前竜二
那須信一 編集：岩水由香
球磨んタイムズは当社ホームページでもご覧頂けます。また facebook ではコーナーごとに掲載中。「熊日多良木販売センター」を検索して下さい。

熊日でありがとう 食考プレゼント キャンペーン

2月16日～3月15日に県産食品・食材が抽選で当たる「食考くまもとキャンペーン 2017」がありました。当販売センターエリア内でも、A賞当選者3名を含み、44名の方が当選されました。おめでとうございます。

当選おめでとうございます!!
A賞：あしきた牛焼き肉



湯前中3年生 林 陽輝さん

誕生日に家族でBBQをする予定。肉を食べて、しっかり野球や勉強に頑張ります。



湯前町 桑原 裕子さん
蒼依ちゃん(7歳) 旺大くん(3歳)
ゆういちちゃん(5歳) 陸くん(1歳)

思いがけないプレゼントを頂き、ありがとうございました。孫たちと一緒に、焼肉パーティーを楽しみたいと思います。

2017年度 「くまTOMOサポーター」募集

現在小中学生新聞「くまTOMO」は、毎週土・日の熊日朝刊に掲載の「くまTOMO」の紙面作りに参加する「くまTOMOサポーター」を募集しています。対象は小学校1年生から中学校3年生までで、登録は無料です。

田村望愛さん(みちか)＝湯前小4年生＝は昨年、祖父の勧めで「くまTOMO」サポーターに登録されました。まだ具体的に紙面作りに参加したことはないそうですが、熊日朝刊1面にある「新生面」を毎日音読し、切り抜いてノートに貼っています。そしてわからない字を、辞書で調べたりされていますが「知らないことなど、意味がわかって良かった」と、実感されているそうです。

また「くまTOMO」の中では、パズルのコーナーが一番好きで、楽しみながら解いています。今後は漢字やそろばんの検定にチャレンジしたいのですが、将来は建築などのデザインのお仕事に就きたいとか。小学生のうちから様々なこと・ものに触れたり、興味を持つことが、可能性を広げていくことに繋がると感じています。

くまTOMO 県内の小中学生 サポーター募集!!

募集期間：4月1日(土)～9月30日(土)

あなたも紙面作りに参加しませんか?

登録方法 無料

- くまにちコムにアクセス
- NIEのページ
- 「くまTOMO」のページ
- 登録フォーム
- 完了

※必ず保護者と一緒に登録してください

次のページへどうぞ

新聞記事を楽しむ!

～「熊本震災1年」の記事から気づく～



4月22日、県バドミントン協会の会議でいくことを願う』と述べられていた。これに、数人のバドミントン仲間に「熊本地震大変だったですね」と小声で尋ねると、「瞬間、もうこれで終わったと思った」「家族を確かめ、外に飛び出し車で避難した。みんなの優しい言葉に感激した」「あの14日の地震の体験が、少しの振れで心を揺らすが、多くの絆で支えられている」と返ってきた。また、「半壊した自宅に住めないことはない、家族でコツコツと修理しながら生活している」と被害の現況も話してくれた。

自らの呑気さを反省し、4月15日の熊本新聞1面、【熊本地震1年、鎮魂の祈り復興誓う】を読み返した。すると「蒲島郁夫知事が『熊本は全国から寄せられた支援の輪に支えられ、復興に向けて着実に歩み進めている。創造的復興。震災前よりもより良い県をつくる』また、遺族を代表し富永眞由美さんが『悲しみを乗り越え、つらさを心の糧として立ち上がる人が増え、熊本が笑顔と活気にあふれるふるさとに再建されることを願う』と述べられていた。これに、数人のバドミントン仲間に「熊本地震大変だったですね」と小声で尋ねると、「瞬間、もうこれで終わったと思った」「家族を確かめ、外に飛び出し車で避難した。みんなの優しい言葉に感激した」「あの14日の地震の体験が、少しの振れで心を揺らすが、多くの絆で支えられている」と返ってきた。また、「半壊した自宅に住めないことはない、家族でコツコツと修理しながら生活している」と被害の現況も話してくれた。

自らの呑気さを反省し、4月15日の熊本新聞1面、【熊本地震1年、鎮魂の祈り復興誓う】を読み返した。すると「蒲島郁夫知事が『熊本は全国から寄せられた支援の輪に支えられ、復興に向けて着実に歩み進めている。創造的復興。震災前よりもより良い県をつくる』また、遺族を代表し富永眞由美さんが『悲しみを乗り越え、つらさを心の糧として立ち上がる人が増え、熊本が笑顔と活気にあふれるふるさとに再建されることを願う』と述べられていた。これに、数人のバドミントン仲間に「熊本地震大変だったですね」と小声で尋ねると、「瞬間、もうこれで終わったと思った」「家族を確かめ、外に飛び出し車で避難した。みんなの優しい言葉に感激した」「あの14日の地震の体験が、少しの振れで心を揺らすが、多くの絆で支えられている」と返ってきた。また、「半壊した自宅に住めないことはない、家族でコツコツと修理しながら生活している」と被害の現況も話してくれた。

自らの呑気さを反省し、4月15日の熊本新聞1面、【熊本地震1年、鎮魂の祈り復興誓う】を読み返した。すると「蒲島郁夫知事が『熊本は全国から寄せられた支援の輪に支えられ、復興に向けて着実に歩み進めている。創造的復興。震災前よりもより良い県をつくる』また、遺族を代表し富永眞由美さんが『悲しみを乗り越え、つらさを心の糧として立ち上がる人が増え、熊本が笑顔と活気にあふれるふるさとに再建されることを願う』と述べられていた。これに、数人のバドミントン仲間に「熊本地震大変だったですね」と小声で尋ねると、「瞬間、もうこれで終わったと思った」「家族を確かめ、外に飛び出し車で避難した。みんなの優しい言葉に感激した」「あの14日の地震の体験が、少しの振れで心を揺らすが、多くの絆で支えられている」と返ってきた。また、「半壊した自宅に住めないことはない、家族でコツコツと修理しながら生活している」と被害の現況も話してくれた。

(原稿提供：多良木高等学校 川北禎一先生)

小中学生新聞 くまTOMO で楽しく授業



多良木小学校（内田正紀校長）5年生のクラスでは、熊本日日新聞が毎週土・日曜日に発行している「小中学生新聞くまTOMO」を活用した授業を、今月9日に行いました。これまでに新聞の特徴として、見出しやリード（前文）があることや、文章が起承転結ではなく、結論から説明へとつながる「逆三角形」で作られていること。また、全国紙と地方紙では、同じテーマの記事なのに、その書き方の視点が違うことなどを学んできました。この日の授業では、児童が興味をもった記事をそれぞれに選んで切り抜き、その感想を書いたものをクラスメイトらと交換しながら、意見を交わしました。担任の中島康智教諭は「思っていたよりも、児童たちは新聞に興味をもっている様子。楽しみながら授業を進められました」と、新聞を活用した授業を、評価されていました。

多良木警察署だより

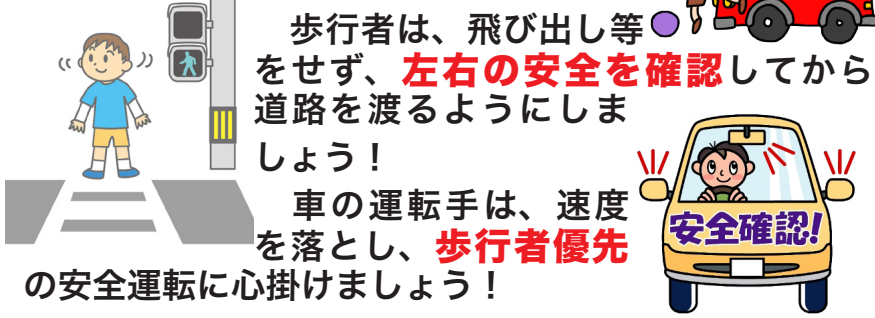
歩行者と自動車による交通事故発生中!

多良木警察署管内で、生徒・児童の方が交通事故に巻き込まれるケースが増えてきます。

特に、**小学生**が車と衝突し、大けがをする事故が連続して発生しています!

歩行者は、飛び出し等をせず、**左右の安全を確認**してから道路を渡るようにしましょう!

車の運転手は、**速度を落とし、歩行者優先**の安全運転に心掛けましょう!



(原稿提供：多良木警察署)



多良木町指定文化財 百太郎溝取入口旧樋門

百太郎溝取入口旧樋門 Part 1

百太郎溝は、延宝8年(1680)に岡原から上まで、宝永元年(1704)に上から一武へ、宝永2年には一武野里まで完了し通水した灌漑用水路です。原野の水田開発が可能となり、小豆島など、内外から多くの入植者が集まり、多くの新田村が成立し、人吉藩の農業生産が大きく向上しました。現在も全長19km、かんがい面積1,554ヘクタールの基幹用水路で、その恩恵は計り知れないものがあります。旧樋門は高さ5.8mの巨大なもので、昭和35年に市房ダム建設に併せた堰の改修工事を取り除かれ、水戸神社境内に移転復元されています。下流側には旧水路の取水口付近が残っています。

球磨支援学校高等部販売学習

「くましえんモール」



球磨支援学校高等部は、6月1日(木)に「ゆめマート多良木店」で販売学習「くましえんモール」を行います。時間は、午前10時から正午までです。

4月に18人の1年生を迎え全学年合わせて49人となり、生徒と教師が一丸となって、意欲的に作業学習に取り組んでいます。作業班は、農園芸班、工芸班、木工班、窯業班の4班です。農園芸班は、花苗、寄せ植え、土など、工芸班は、ミニトートバッグ、ランチョンマットなど、木工班は、ベンチ、木ボックスなど、窯業班は、皿やどんぶりなどを販売します。

是非ご来店いただき、真心のこもった製品と生徒たちの笑顔で、心も体も元気になっていただけたらと思います。

(原稿・写真提供：球磨支援学校)

暖談なあ

◆熊本地震被災もいえる熊本城。本格的な復旧工事が始まっています。◆屋根瓦ががしやちほこもろとも滑落、その跡に草が生えた大天守の姿を覚えておられる方も多いでしょう。そこに組まれた足場で作業する人たちが天守の大きさを逆に印象づけます◆天空に突き出たクレーンは、さながら生き物の角を彷彿とさせます。加藤神社から見ると、大小の天守はぐっと近づき迫力満点です◆国の重要文化財である宇土櫓は、外から見るとあまり被害がなさそうに思えますが、床をガムテープの芯が転がるシーンをテレビで見られた方も多いため、外見ではわからない傾斜などがあるのでしょうか◆熊本市の調査では本格的な復旧に20年かかるとか。ただ、天守閣に限り2年かかるとか。しかも一部の作業は見学できるようです。機会があれば、しっかりと目に焼き付けておきたいですね。(X)